

風俗

〔人國記〕肥後國

内三拾八万四千三百九拾六人 女男

肥後國ノ風俗、大形肥前ニ似タリトイヘドモ、其勇之甲乙ヲ數フルニ、百ニ而其一也、武士之風俗ハ肥前ニ替リテ柔也、雖然其意地、筑前豐前兩國ヲ合タルヨリ上ト可知也、サレドモ知有ヲ以テ分別多ク思ヒ、成所アルニヨリ、一和スル事スクナク、ニツ三ツニモ引分レテノ形儀ナレバ、肥前ニハルハ、劣ルモノカ、

〔肥後國志國一〕肥後國元始大略

按ニ、略上下トモニオノ有ル國ニシテ、人々不義ヲ惡ム風ナリ、去ルニ依テ、孀婦ヲ娶リ、入聲ナドスル者ニハ、座ニ列ナルヲ恥トセリ、

〔日本鹿子十四〕同國後○肥中名所之部

宇土の長濱 年中行事には筑後と見へたり、名所の記には當國に入れり、腹赤の御調此所より備るといへり、

八代池 野坂 足北 はだか島

肥後の國うとの内なるはだか島きたれる浪や衣なるらん

赤播山 平川 ヲ渡川 万里杜 龍尾川 松風關 黒摺川 硯川 泪の浦 風流島 鞍の

瀧 此外、舊記のする名所多しといへど、いまだ在所不詳、

雜載

〔延喜式二〕兵部諸國器仗略○中 肥後國甲張征箭冊具胡蘇冊具廿

〔續日本後紀三〕承和元年五月癸亥太宰府司公廨、元來班給六國、至天長八年、依民部省所請、停給

六國混給肥後國、至是勅曰、如聞轉送之勞、民受其費、混給一國、事乖穩便、宜復舊給之、

〔類聚三代格五〕太政官符